

MAKE THE
WORLD SEE

Milestone Systems

XProtect® DLNA Server 2020 R1

システム管理者 マニュアル



目次

Copyright、商標、および免責条項	3
概要	4
XProtect DLNA Server (説明付き)	4
XProtect DLNA Server システムフロー	4
ライセンス	6
DLNAライセンス	6
要件と注意事項	7
XProtect DLNA Serverをインストールする前に	7
XProtect DLNA Server の要件	7
カメラ設定	7
インストールされているもの	7
インストール	9
XProtect DLNA Serverをインストールします	9
標準的なインストール	9
カスタムインストール	10
設定	11
XProtect DLNA Serverを設定中...	11
DLNAサーバーの設定を構成する	11
チャンネルの追加	11
運営XProtect DLNA Server	12
XProtect DLNA Serverサービスのステータス	12
マネジメントサーバーのアドレスの変更	13
ポート番号の編集	13
操作	14
ビデオストリームを見るには、DLNA認証されたデバイスを使用。	14

Copyright、商標、および免責条項

Copyright © 2020 Milestone Systems A/S

商標

XProtect はMilestone Systems A/Sの登録商標です。

MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

AndroidはGoogle Inc.の商標です。

本文書に記載されているその他の商標はすべて、該当する各所有者の商標です。

免責条項

このマニュアルは一般的な情報を提供するためのものであり、その作成には細心の注意が払われています。

この情報を使用することにより発生する危険の責任はすべてその使用者にあるものとします。また、ここに記載されている内容はいずれも、いかなる事項も保証するものではありません。

Milestone Systems A/S は、事前の通知なしに変更を加える権利を有するものとします。

本書の例で使用されている人物および組織の名前はすべて架空のものです。実在する組織や人物に対する類似性は、それが現存しているかどうかにかかわらず、まったく偶然であり、意図的なものではありません。

この製品では、特定の契約条件が適用される可能性があるサードパーティ製ソフトウェアを使用することがあります。その場合、詳細はお使いのMilestone システムインストールフォルダーにあるファイル3rd_party_software_terms_and_conditions.txtを参照してください。

概要

XProtect DLNA Server (説明付き)

DLNA (Digital Living Network Alliance) は接続するマルチメディアデバイスの標準です。電子デバイスの製造者はさまざまなベンダーやデバイス間で相互運用ができるように、そして音声やビデオ、写真などのマルチメディアコンテンツを配信できるように、自社製品のDLNA認定を受けます。

一般表示やテレビの内容はDLNA認定を受けており、ネットワークに接続されています。メディアコンテンツのネットワークをスキャンしたり、デバイスに接続したり、メディアストリームを組み込みメディアプレーヤーにリクエストしたりできます。XProtect DLNA Server は特定のDLNA認定デバイスで検出でき、選択されたカメラからメディアプレーヤー付きDLNA認定デバイスにライブビデオストリームを配信できます。



DLNAデバイスには、1～10秒のライブビデオ遅延があります。これはデバイスのバッファサイズが異なることによって引き起こされます。

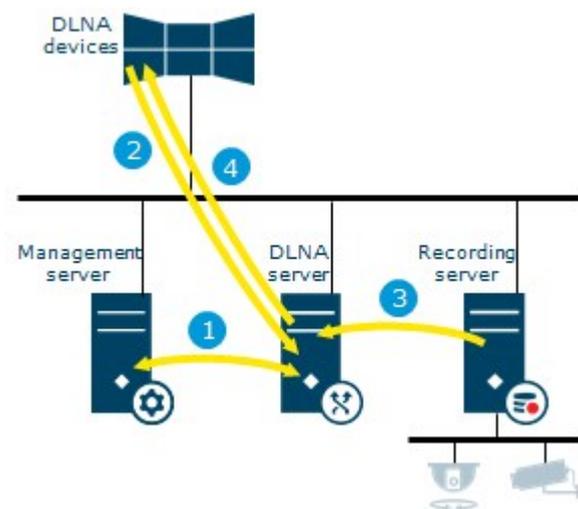
XProtect DLNA Server はXProtectシステムと同じネットワークに接続されている必要があり、DLNAデバイスはXProtect DLNA Serverと同じネットワークに接続されている必要があります。

XProtect DLNA Server システムフロー

これはXProtect DLNA Server次の構成要素で成立します。

- XProtect DLNA Server
- XProtect DLNA Server 64ビットの管理プラグイン Management Client

以下の図はDLNAデバイスとXProtectシステムのXProtectDLNA Serverの間での相互運用の大まかなビューを示しています。



1. XProtect DLNA Serverサービスを開始するとき、XProtect DLNA Serverはマネジメントサーバーに接続し、提供された資格情報により自分自身を承認します。承認の後、XProtect DLNA Serverが起動し、カメラからDLNAデバイスにH.264ビデオストリームを送信する用意をします。
2. DLNAデバイスはXProtect DLNA Serverを介してXProtectシステムに接続し、ライブカメラのビデオストリームを要求します。このためには、DLNAデバイスはXProtect DLNA ServerがインストールされたサーバーのIPアドレスか、ドメイン名(ドメイン/ホスト名)とDLNAポート番号が必要となります。これは、UPnPプロトコルで自動的に行われます。
3. XProtect DLNA Serverはレコーディングサーバーから要求されたカメラのビデオストリームを取得します。
4. XProtect DLNA Serverは要求されたカメラからライブのビデオストリームをHTTPストリーミングを介してDLNAデバイスに送信します。



H.264 エンコード済みカメラのストリームのみがサポートされています。カメラがマルチ・ストリームをサポートする場合は、既定のストリームだけを送ります。

ライセンス

DLNAライセンス

XProtect DLNA Server は追加ライセンスを必要としません。ソフトウェアは、マネジメントサーバーのシステム管理インストールWebサイトから、無料でダウンロードおよびインストールが可能です。

要件と注意事項

XProtect DLNA Serverをインストールする前に

XProtect DLNA Serverをインストールする際には、Management Clientのサーバーとプラグインをインストールします。これらのコンポーネントでDLNAチャンネルの追加が可能になり、ビデオをDLNAデバイスに提供できます。

複数のDLNAサーバーをXProtectシステムにインストール・追加できます。ただし、複数のDLNAデバイスは各DLNAサーバーに接続できるので、このことによりネットワークへの負荷が増え、パフォーマンスに影響する可能性があります。マネジメントサーバーを実行するコンピュータのネットワークリソースの使用量を全体的に減らすには、別のコンピュータ上にXProtect DLNA Serverをインストールします。



インストールにはEvent ServerサービスとManagement Clientの再起動が必要となります

Milestone では、実際のインストールを開始する前に、次のセクションに記載の要件を確認するように推奨しています。

XProtect DLNA Server の要件

XProtect DLNA Serverコンポーネントをインストールするコンピュータの要件は以下の通り:

- XProtectシステムと同じネットワークに接続されている
- マネジメントサーバーへのアクセス
- Microsoft® NET フレームワーク4.5.1 あるいはそれ以上がインストール

各種システムコンポーネントの最小システム要件については、Milestone Web サイト (<https://www.milestonesys.com/systemrequirements/>) をご覧ください。

カメラ設定

Management Clientにおける、推奨されるカメラ設定の検証

- 秒1当りのフレーム: **25**(またはそれ以上)。
- キーフレーム間のフレームの最大数: **25**(フレーム/秒と同じ値)。
- 解像度: **1920x1080**。
- ビットレート制御モード: 不変ビットレート

インストールされているもの

インストール中、つぎの構成要素がインストールされます。

- XProtect DLNA Server 管理プラグイン
- XProtect DLNA Server 以下が含まれます。
 - XProtect DLNA Serverがインストールされたサーバーの通知領域からアクセス可能で実行のXProtect DLNA Server Manager
 - XProtect DLNA Server サービス

インストールは次の方法でもできます。

- XProtect DLNA Serverサービスの登録および起動
- XProtect DLNA Server Managerを開始します。これはXProtect DLNA ServerがインストールされたサーバーのWindows通知領域にあります。



プラグインはManagement Clientのサーバーノードで利用可能です。これは、典型的なインストール方法を使えば、自動的に起動します。カスタムインストール方法を使えば、インストールの後の段階でインストールできます。

インストール

XProtect DLNA Serverをインストールします

インストール web ページにアクセスするには:

1. インストールしたいコンピューターにログインしてXProtect DLNA Serverインターネットブラウザを立ち上げる。
2. ブラウザに以下のURLを入力します: `http://[マネジメントサーバーのアドレス]/installation/admin`
[マネジメントサーバーのアドレス]はマネジメントサーバーのIPアドレスまたはホスト名です。
3. DLNA サーバー インストーラー下の全ての言語 を選択。
4. インストーラーを適当な場所に保存するには保存をクリック。ここから走らせるか、あるいは ランをクリックするとweb ページから直接走らせることができます。

インストーラを動作する

1. 全ての警告と使用したい言語を選択。[続行] をクリックします。
2. 使用許諾契約を読み、同意します。[続行] をクリックします。
3. インストールタイプを選択するには、下記の手順をおこなってください:
 - 単一 コンピュータシステムでは [標準] を選択します
 - 分散システムでは [カスタム] を選択します

標準的なインストール

1. 1つのコンピューターに全てのXProtect DLNA Serverコンポーネントをインストールし、デフォルトのセッティングを適用するには、標準を選択。
 - ログイン(ネットワークサービスとして、またはユーザー名 とパスワードが割り当てられたドメインユーザーアカウントとして) が正しいことを確認します
 - 続行をクリックします。



後の段階でサービスアカウント資格情報を変更または編集する場合、XProtect DLNA Serverの再インストールが必要となります。

2. URLまたはIPアドレス、ならびにプライマリマネジメントサーバーのポート番号を指定します。デフォルトのポートは80です。ポート番号を入力しなかった場合はポート80が使用されます。次に、 [続行] をクリックします。
3. ファイルの場所と製品の言語を選択し、[インストール] をクリックします。
インストールが完了すると、インストールされたコンポーネントのリストが表示されます。[閉じる] をクリックします。
4. Event Serverサービスをリスタートし、Management Client.

カスタムインストール

1. XProtect DLNA Server離れたコンピューター上のコンポーネントをインストールするには、カスタムをクリック。
2. サーバーをインストールするには、XProtect DLNA Serverチェックボックスを選択し、継続をクリック
3. マネジメントサーバーとの接続を確立するためには、次を指定します。
 - ログイン(ネットワークサービスとして、またはユーザー名とパスワードが割り当てられたドメインユーザーアカウントとして)が正しいことを確認します。次に、[続行]をクリックします。



後の段階でサービスアカウント資格情報を変更または編集する場合、XProtect DLNA Serverの再インストールが必要となります。

- URLまたはIPアドレス、プライマリマネジメントサーバーのポート番号、ならびにXProtect DLNA Serverとの通信に使用する接続ポートを指定します：
 - マネジメントサーバーのデフォルトのポートは**80**です。ポート番号を入力しなかった場合はポート**80**が使用されます
 - デフォルトポート数は: **DLNA video 9200** と **DLNA device 9100**

[続行]をクリックします。

4. ファイルの場所と製品の言語を選択し、[インストール]をクリックします。

インストールが完了したら、インストールに成功したコンポーネントのリストが表示されます。
5. 閉じるをクリックしてから、XProtect DLNA ServerプラグインをManagement Clientがインストールされているコンピュータにインストールします。プラグインをインストールするためには、インストローラーを再度コンピュータ上で走らせカスタムを選択してプラグインを選んでください。
6. Event Serverサービスをリスタートさせ、Management Client。

設定

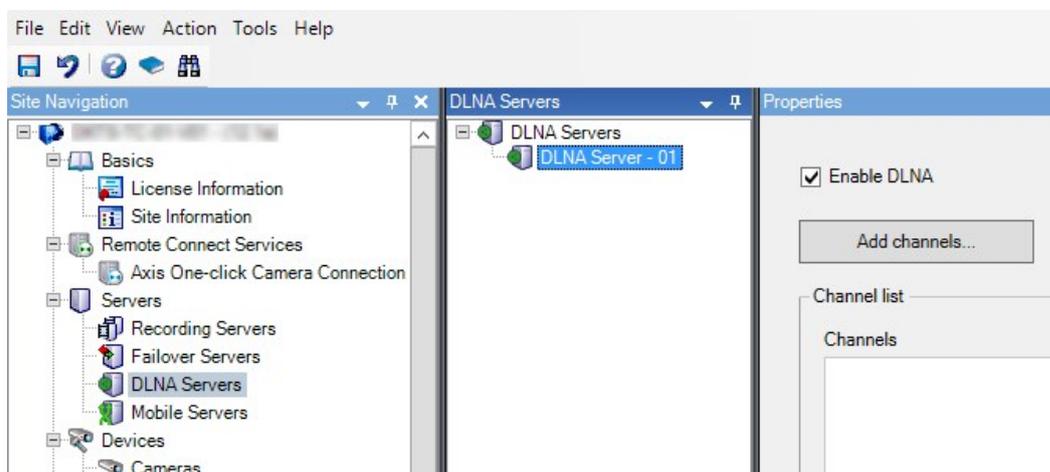
XProtect DLNA Serverを設定中...

XProtect DLNA Server インストール後、XProtect DLNA Server サービスが動作すると、通知エリアのDLNA Server Manager トレイアイコンが緑色に変わります。次のステップとして、カメラをXProtect DLNA Server で有効にします。

DLNAサーバーの設定を構成する

DLNAデバイスにXProtect VMSへのアクセスを提供するには、次のステップに従います。

1. Management Clientを開きます。
2. サーバーを展開し、DLNAサーバーを選択します。それから、追加したばかりのDLNAサーバーを選択します。



3. サーバーの名前を変更するには、DLNAサーバーを右クリックし、名前の変更を選択します。入力する名前は、メディアが使用可能なコンテンツをスキャンするときにDLNAデバイスが検出する名前です。
4. [プロパティ]タブでは、[DLNAを有効にする]チェックボックスがデフォルトで選択されています。DLNAを無効にしたい場合は、チェックボックスを外します。

チャンネルの追加

DLNAデバイスは、お使いのXProtectシステムで決められているチャンネルを見つけます。カメラにアサインできるDLNAチャンネルには異なったタイプのものがあります：

- 単一カメラチャンネルごとにカメラ1つ
- 画面自動切替チャンネルに対して複数のカメラチャンネルは、定義されたタイムインターバルで、選択されたカメラをスイッチします。
- ルールベースチャンネルに対してひとつ、あるいは複数のカメライベントに基づき、カメラはルールで定められたチャンネルに対して設定、または除去されます。



チャンネルの作成後は、このチャンネルにカメラが表示されるよう、[ルール]で新しいルールを作成する必要があります。

DLNAデバイスで使用可能なカメラを選択するには、次の手順に従ってください：

1. チャンネルの追加ボタンをクリックします。
2. チャンネルタイプを選択します。
3. サーバーをカメラグループをクリックして、拡張します。それから、必要なカメラを選択します。

画面自動切り替えチャンネルで、各カメラの継続時間および順番を調節するには：

1. カメラを選択し、時間を調節します。
2. リストの一番上にある矢印を使用し、画面自動切り替えの順番を変更します。

カメラのアサインメントの継続時間を、ルールで定められたチャンネルに適応するには：

1. 「後でカメラをチャンネルから除去する」チェックボックスを選択します。
2. 時間を設定します。

加えられたチャンネルのタイプがチャンネルリストに表示されます。

運営XProtect DLNA Server

XProtect DLNA Serverの構成後、様々な方法でサービスの監視と構成設定の変更ができます。

XProtect DLNA Serverサービスのステータス

XProtect DLNA Serverサービスのステータスを見るには、以下のステップに従います。

XProtect DLNA Serverがインストールされているコンピュータで、通知領域を見ます。XProtect DLNA Server Managerアイコンは、以下の色でXProtect DLNA Serverサービスのステータスを表示します。



- 緑：実行中
- 黄色：開始中、あるいは停止中
- 赤：停止

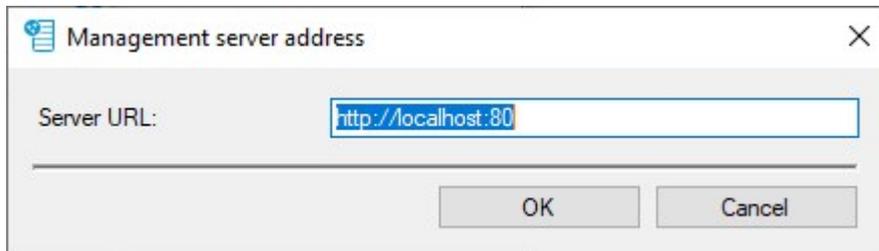
停止した場合は、アイコンを右クリックし、[開始]XProtect DLNA Serverを選択します。

マネジメントサーバーのIPアドレスまたはポート番号を変更した場合、XProtect DLNA Serverにおいてこの情報を更新する必要があります。XProtect DLNA Serverのポート番号も変更できます。

マネジメントサーバーのアドレスの変更

マネジメントサーバーのアドレスを変更するには、以下の手順に従います：

1. XProtect DLNA Serverサービスがインストールされているコンピュータで、XProtect DLNA Server Manager トレイアイコンを右クリックし、[マネジメントサーバーのアドレス]を選択します。



2. 新しい情報を指定してから、**OK**をクリックします。



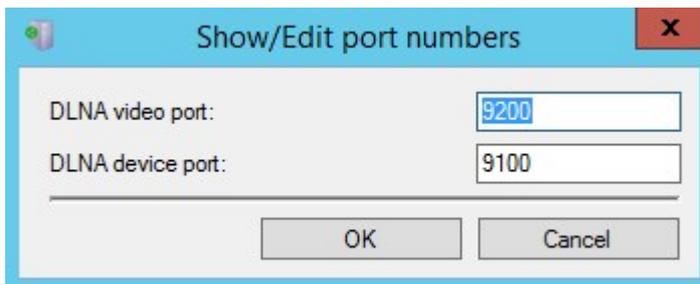
マネジメントサーバーがインストールされているサーバーのドメイン名またはIPアドレスを使用する必要があります。

XProtect DLNA Serverサービスが再開し、トレイアイコンが緑色になります。

ポート番号の編集

XProtect DLNA Serverのポート番号を変更するには、以下のステップに従います。

1. XProtect DLNA Serverサービスがインストールされているコンピュータで、XProtect DLNA Server Manager トレイアイコンを右クリックし、[ポート番号の表示/編集]を選択します。



2. 新しい情報を特定してから、**OK**をクリックして下さい。

XProtect DLNA Serverサービスが再開し、トレイアイコンが緑色になります。

操作

ビデオストリームを見るには、DLNA認証されたデバイスを使用。

パブリックディスプレイまたはTVのXProtect システムからライブビデオの視聴をスタートするには、次のステップを行ってください:

1. デバイスがDLNA認証され、XProtect DLNA Serverでネットワークに接続されていることを確認します。
2. XProtect DLNA Server発見されたら、ネットワークをスキャンし、接続します。
違うチャンネルのリストが表示されます。
3. 見たいビデオのチャンネルに接続してください。
4. 確認するビデオを写している選択されたチャンネルを。



helpfeedback@milestone.dk

Milestoneについて

Milestone Systems はオープンプラットフォームの監視カメラ管理ソフトウェア (Video Management Software: VMS) の世界有数のプロバイダーです。お客様の安全の確保、資産の保護を通してビジネス効率の向上に役立つテクノロジーを提供します。Milestone Systems は、世界の15万以上のサイトで実証された高い信頼性と拡張性を持つMilestoneのソリューションにより、ネットワークビデオ技術の開発と利用におけるコラボレーションとイノベーションを促進するオープンプラットフォームコミュニティを形成します。Milestone Systemsは、1998年創業、Canon Group傘下の独立企業です。詳しくは、<https://www.milestonesys.com/>をご覧ください。

